

募集 復興支援員の募集

東日本大震災の甚大な被害により、被災地域の住民が長期間にわたり仮設住宅での生活を余儀なくされています。復興にあたっては、地域に根ざしたコミュニティ再構築に向けた人材面での支援が必要です。被災者の見守りやケア、地域おこし活動などに幅広く従事する復興支援員を市内外から募集します。

- 募集人数 若干名
- 募集対象

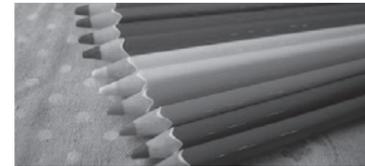
① 20歳以上の若者で、心身とも健康な方。② 普通自動車運転免許を有する方。③ 基本的なパソコンの操作ができる方。④ 地方公務員法第16条に規定する一般職員の欠格条項に該当しない方。⑤ 住民とともにコミュニティ再構築に取り組み、地域を元気にする意欲のある方。

- 報酬 月額 15万円程度
- 面接日時・会場 申し込み受け付け時にお知らせします。

- 申込期間 6月3日(月)～17日(月)

● 申込方法 指定の応募用紙を記入の上、企画課へお申し込みください。応募用紙は、企画課および各行政局地域振興課に備えています。なお、市ホームページからもダウンロードできます。

- 総務部 企画課 ☎81-2135
- http://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/5/



年金 農業者年金を受給している皆さんへ

農業者年金を受給する資格を確認するため、毎年1回現況届の提出が必要です。5月下旬に農業者年金基金から送付された現況届用紙を期限までに提出してください。提出しない場合、11月の支払いから提出されるまでの間、年金の支払いが差し止められますので、ご注意ください。

- 提出期限 6月28日(金)
- 提出先 農業委員会事務局、農林課、各行政局産業建設課、各出張所
- その他 他市町村から避難している受給者で、現況届の通知が届いた方は、お近くの提出先へ提出してください。

- 農業委員会事務局 ☎68-3110

募集 「田村市小学生サマースクール」講師の募集

高校生・大学生のみなさん、小学生に算数を教えてみませんか！市では、小学生サマースクール「先輩と学ぼう」を開催します。そこで、高校生・大学生などの皆さんに、講師を募集します。

【小学生サマースクールの内容】

- 対象児童 市内小学校5年生 ※希望者のみ
- 日時 7月30日(火)～8月1日(木) 午前中
- 事前研修会 7月29日(月)
- 会場 各中学校区内の小学校
- 講師謝金 (1日3時間) 1時間 1,000円 1時間 800円※高校生
- 指導内容 教科は算数。内容は個別の支援、解答と解説。

【応募のきまり】

- 募集人数 20人～40人
- 募集対象 地元出身の高校生・短大生・大学生、およびその卒業生
- 申込期限 6月20日(木)
- 申込方法 「講師バンク申込用紙」に必要事項を記入の上、教育委員会学校教育課へお申し込みください。申込用紙は、教育委員会、各公民館、各行政局市民課に備えています。

- その他 ① 応募された方を「講師バンク」の名簿に登載します。② 7月上旬に正式な講師依頼をします。
- 問 教育部 学校教育課 ☎68-3112

教育 教科書の展示会

現在、国内で使われている小・中学校の教科書が展示されます。この機会にぜひご覧ください。

- 期間 6月14日(金)～27日(木) ※土・日曜日も含む
- 時間 午前9時～午後5時
- 会場 おおごえふるさと館 (大越行政局西側隣)
- 問 教育部 学校教育課 ☎68-3112

電波 総務省からのお知らせ

6月1日～10日は「電波利用環境保護周知啓発強化期間」です。電波は、ルールを守って正しく使いましょう。

- 電波の混信・妨害についての問い合わせ 総務省 東北総合通信局 相談窓口 ☎022-221-0641
- 問 郡山消防本部 予防課 ☎024-923-8172

募集 「健康応援セミナー」受講生の募集

「食」を通じて健康づくりのボランティア活動をしてみませんか？食生活改善推進員として地域で健康づくりのボランティア活動をするために、知識や技術を学ぶセミナーです。ぜひご参加ください。

- 期間 6月～12月までの全7回 (毎月1回)
- 初回開催日 6月21日(金)
- 時間 午後1時30分～3時30分
- 会場 大越保健センター
- 内容 栄養・運動・口などの健康づくりに関する講話や調理実習など
- 対象 ① 田村市在住の方 (性別は問いません)。② 食を通じた健康づくりや、地域でのボランティア活動に関心のある方。③ 講座終了後に食生活改善推進員として活動できる方。
- 定員 20人 (先着順)
- 受講料 600円 (調理実習材料費2回分)
- 申込方法 6月14日(金)までに保健課へお申し込みください。
- その他 詳しくは、保健課へお問い合わせください。
- 問 保健福祉部 保健課 ☎81-2271

消防 電気器具の安全な取り扱い

電気器具は便利なものですが、誤った使用方法や不注意から火災となる場合があります。使用する際は、次のことに注意しましょう。

- 電気配線からの出火防止 ① コンセントまわりを定期的に掃除し、差込プラグに付いたほこりなどを取り除く。② 傷ついたコード、束ねた状態や重いものを載せた状態では使用しない。③ たこ足配線は絶対にしない。
- 電気器具の点検 古くなった電気器具を使用するときや、使用中に普段と違った音や動きに気付いたときは、すぐに使用をやめ、専門の業者に点検を依頼する。
- 電気器具の正しい使用 ① 取扱説明書をよく読み、誤った使い方をしない。② プラグが変形しているものは使用しない。また、使用しないときは差込プラグをコンセントから抜く。
- 問 郡山消防本部 予防課 ☎024-923-8172

集団健康診査・がん検診など

集団健康診査・がん検診

- 受付…船引 7:30～10:00 大越・滝根 7:45～9:30

地区	日	対象	会場	
大越	1 (月)	上北部区、町郷区	おおごえふるさと館	
	2 (火)	東部区、西部区 (原洞)		
	3 (水)	南部区、西部区 (下町)		
船引	4 (木)	遠山沢、本郷、井堀、上、大堀	船引南小学校 (体育館)	
	5 (金)	要田全地区	要田出張所	
滝根	6 (土)	美山全地区	美山小学校	
	16 (火)	上郷、中郷、作組、広瀬、町、下組	天地人大学	
	17 (水)	石神、菅谷駅前	菅谷共栄会館	
	18 (木)	原屋敷、入水、畑中		
	19 (金)	江川、糠塚、梵天川	滝根体育館	
	21 (日)	神保町、関場、和貢		
	22 (月)	上郷の一部 (南作・塙)、中広土、大平、入新田1・2		
	23 (火)	春山1区・2区		旧春山小学校 (体育館)
	船引	24 (水)	大倉、新館	瀬川出張所
		25 (木)	門鹿、石沢	旧櫛山小学校 (体育館)
26 (金)		櫛山、永谷		
29 (月)		上郷、下郷	七郷出張所	
30 (火)		今泉	今泉多目的集会所	
31 (水)		下里	船引保健センター	

乳がん検診 (集団検診)

地区	日	受付	対象	会場
大越	17 (水)	9:00～10:00	50歳～59歳	大越保健センター
		13:00～13:30		
常葉	18 (木)	9:00～10:00	50歳～59歳	常葉保健センター
		13:00～14:00		
	24 (水)	9:00～10:00	60歳以上	
大越	29 (月)	9:00～10:00	60歳以上	大越保健センター
		13:00～13:30		
	30 (火)	9:00～10:00		
		13:00～13:30		

- 集団健康診査・がん検診は市内どの会場でも受診できます。
- 子宮頸がん・乳がんの集団検診は該当する会場で受診してください。やむを得ず別の会場で受診する場合は、事前にお住まいの地区の市民課 (船引地区は保健課) にお申し込みください。

子宮頸がん・乳がんの施設検診について

- 施設検診は、がん検診受診希望調査による申込者へ個別に通知しました。
- 対象者 **子宮頸がん** …20歳以上で昨年度未受診の方 **乳がん** …40歳～59歳で昨年度未受診の方
- ※実施期間は11月29日(金)まで

無料クーポン券事業 (該当者へ個別に郵送しました)

- 対象年齢 **子宮頸がん** …21・26・31・36・41歳 **乳がん** …41・46・51・56・61歳 [40歳代の方] 施設検診のみ (市と契約した病院に限る) [50歳代の方] 施設検診・集団検診を選択できます [60歳代の方] 集団検診のみ
- ※無料クーポン券の有効期限は11月29日(金)まで

6月のよろず健康相談

一部健診会場では、医師・看護師らによるよろず健康相談ブースを開設します。「病院に行くほどではないけれど気になる」健康に関するお悩みのご相談にお答えします。ぜひご利用ください。

- 9 (日) 北移・南移コミュニティプラザ
- 28 (金) おおごえふるさと館

公立小野町地方総合病院だより

- お問い合わせ 公立小野町地方総合病院企業団 総務課 ☎72-3181

information

内科医師 林 茂筆 (りん もひつ) 医師からのお知らせ 「熱中症について」



熱中症とは、高温・多湿が原因で体温調節ができずに、頭痛、吐き気などの様々な症状が現れる状態のことです。熱中症は、適切に予防さえすれば防げるものです。しかしながら、予防に関する知識が十分に普及していないため、熱中症による事故が毎年発生しています。

熱中症による死亡事故のうち8割が65歳以上で、約半数は家庭内で発生しています。また、総務省の統計によると、平成24年7月～9月における熱中症の救急搬送件数は、約4万5千件と発表されています。

熱中症を防ぐためには、日常生活における注意が大切です。暑さを避け、こまめに水分、塩分を補給することが重要です。

高齢になるにつれて、皮膚の温度感覚が鈍くなり、脱水が進んでも喉の渇きを感じにくくなるため、普段からこまめに水分を取る習慣を身につけましょう。

熱中症の症状が改善されない場合は、医療機関を受診してください。